

# 新領域開設記念 講演会・進学説明会

関西大学 外国語教育学研究科主催

2014年度より、関西大学外国語教育学研究科は、これまでの「外国語教育学領域」に加えて、新たに「通訳翻訳学領域」と「異文化コミュニケーション学領域」を開設いたします。それを記念して、新領域開設記念講演会・進学説明会を以下のような予定で開催いたします。

2013. **9/22** [日]

参加料  
**無料**  
事前申し込み  
不要

10:00-17:30  
(受付 / 9:30-10:00)

関西大学 (阪急「関大前駅」より徒歩5分)  
千里山キャンパス 岩崎記念館 4F

- 10:00~10:30 開会行事
- 10:30~12:00 講演1: 和泉伸一 (上智大学)
- 12:00~13:00 昼休み (16:45からの個人相談会に出席できない方のための相談ブースを開設)
- 13:00~13:30 外国語教育学研究科 新カリキュラム(2014年開始)の説明
- 13:30~15:00 講演2: 鳥飼玖美子 (立教大学)
- 15:15~16:45 講演3: 高井次郎 (名古屋大学)
- 16:45~17:30 外国語教育学研究科への進学に関する個人相談会

外国語教育学領域

和泉伸一 (上智大学 外国語学部 教授)

「新時代の英語教育: 英語学習に対するのピリーフと学習方略の研究の視点から」

通訳翻訳学領域

鳥飼玖美子 (立教大学大学院 異文化コミュニケーション研究科 特任教授)

「大学院における通訳翻訳教育の意義」

異文化コミュニケーション学領域

高井次郎 (名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教授)

「異文化コミュニケーションの『異文化』を強調する弊害: 集団間心理学からの視点」

午前10時30分～12時

## 「新時代の英語教育：英語学習に対するの ビリーフと学習方略の研究の視点から」



和泉伸一（上智大学 外国語学部 教授）

専門は、第二言語習得論（内容中心教授法、内容言語統合型学習、タスク中心教授法、フォーカス・オン・フォームを取り入れた英語教育など）

日本人英語学習者は外国語学習について一体どのような考えをもっているのだろうか。また、そのような考え方はどこに由来していて、実際の学習方法や、その成果としての英語能力の自信度にどういった影響を与えているのであろうか。本講演では、こういった学習者ビリーフ研究の視点から日本の英語教育のあり方について考えていきたい。

外国語教育学領域  
第1講演

午後1時30分～3時

## 「大学院における通訳翻訳教育の意義」



鳥飼玖美子（立教大学大学院 異文化コミュニケーション研究科 特任教授）

専門は、通訳翻訳論、言語コミュニケーション論、英語教育論

通訳翻訳教育を大学院でと聞くと、「大学院で？」と驚く人が多いかもしれません。日本では専門学校が養成を担ってきたからでしょう。しかし海外では、通訳翻訳教育は大学院レベルが常識です。本講演では、通訳や翻訳が異文化コミュニケーション行為であることを説明し、なぜ大学院で学ぶことが必要なのかを語りたいと思います。

通訳翻訳学領域  
第2講演

午後3時15分～4時45分

## 「異文化コミュニケーションの『異文化』を 強調する弊害：集団間心理学からの視点」



高井次郎（名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教授）

専門は、社会心理学、対人コミュニケーション論

異文化コミュニケーションの「異文化」には、当事者同士の違いを強調し、異なった集団の相手とのコミュニケーションのニュアンスがあります。異なる集団の人とのコミュニケーションには、「われわれ」と「彼ら」の区別が前提となり、このことを意識すると「内集団びいき」や「外集団成員に対するステレオタイプ化」など、集団間プロセスが引き起こされます。本講演では、集団間心理学の知見から、異文化コミュニケーションを阻害し得る要因を提起し、それに対する対応策などについて検討します。

異文化コミュニケーション学領域  
第3講演